



笑顔とやる気いっぱいの七中 生徒自らが常に鍛え続ける七中

七中だより



第 9 号 中野区立第七中学校 《学校だより》

令和6年12月25日

Pay it forward

校長 上村 諭

「ディスウェイ ウォーク ウォーク ウォーク ドン! ターンレフト ウォーク エグジット」
これ、何のことか想像できますか?

ある日、地下鉄の構内を歩いていると、遠くにキャリーバックをもった外国の旅行者であろう家族が案内図の前で立ち止まっています。どうやら道に迷っているようで、一向に動こうとはしません。

通り過ぎたのですが、気になり、戻って「どうしました?」と日本語で声をかけました。すると旅行者は「Need a sim card」とのこと。

「ならば、家電量販店を教えてあげればよいな」と思いました …… が、私は英語を流暢に話すことはできません。まずは構内図を指でなぞりながら「この通路をずっとまっすぐ行って、ぶつかったら左に曲がって歩くと出口がありますよ」と説明をしましたが、わからない様子です。

そこで、次に出てきた言葉が「ディスウェイ ウォーク ……」でした。英語が通じている自信はありませんでしたが、旅行者はお礼を言って、伝えた方向に歩いていきました。

これは、東京 2020 オリンピック開催を控えた年の出来事です。

当時の生徒たちには、校外学習での課題の一つとして

「オリンピックで、外国から多くの人々が東京にやってきます。積極的に話しかけてみましょう」といったものがよく出されている、と聞いていました。

であれば、私も生徒と同じように挑戦してみようと思ったのが、声をかけるきっかけです。

そんな小さな挑戦でしたが、後日「こういう時って、なんて言うのが正解だろう?」と思い、この出来事を英語科の教員に話すと、思ってもみなかった答えが返ってきました。

「どんな言い方が正しいか? よりも、伝えようとしたことが偉いじゃないですか。それに、伝わったようですし。小さなことかもしれませんが、不安になって困っているときに親切にされて、帰国したときに『日本に来てよかった』って思ってもらえたら大きな収穫ですよね」

これを聞いて「こういうのが Pay it forward ってことなのかもしれない」と、ある出来事を思い出しました。

初めて行った秘湯から帰る時でした。山奥の駅ですから、次の電車を4時間以上待たなければならないことに気づき、独りホームで、途方に暮れていました。そこに、たまたま駅の施設を保守点検に来た方が声をかけてくれ、街まで送ってくれたことがありました。

今でも、その土地の人々の温かさは覚えています。

見知らぬ土地では、それだけで不安です。そして、困っていた時に親切にしてもらったことは印象に残るものです。小さなことですが、もしそういう人を見かけたら、まずは「どうしましたか?」と声をかけてみようと感じた出来事でした。

国際理解教育

中野区イングリッシュキャンプ

軽井沢少年自然の家で、11月21日（木）から2日間、1年生を対象にした英語に触れあう体験活動「イングリッシュキャンプ」を実施しました。

往路のバスからALT（外国語指導助手）からのクイズや英語での自己紹介の活動があり、宿舎に到着後、早速ALTとコミュニケーションをとりながらの昼食となりました。

本格的に英語体験活動に入り、暖かな日差しの中庭で学習班に分かれ、ALTとゲームをしながら緊張をほぐしていました。

屋内では「World Tour」（各国のブースに分かれ、食やスポーツ、有名な場所などの説明を受ける）が行われていました。

星空観測では天の川が見えるほど、澄んだ夜空に生徒たちは興奮していました。

2日目は朝から「Physical Activities」として『Chikin Dance』で身体を動かし、踊り、大いに盛り上がりました。そして、最後はイングリッシュキャンプの集大成「Show and Tell」です。紹介したいものについて事前学習で用意したイラストを見せながら英語で紹介する学習です。皆、緊張しながらも、これまで準備してきた成果を発揮していました。

生徒たちは「ALTとの英語での会話が続くだろうか……」

「英語が上手にしゃべることができるだろうか……」と不安な様子でしたが、2日目にはALTと気軽に話している姿があり、充実した英語体験となりました。



国際理解教室

12月4日（水）に「様々な出身国のALTと関り、国際理解及び国際感覚の基礎を培う」ことを目的とした国際理解教室に1年生と2年生が参加しました。

前半は各教室で「Travel Agency」（自分たちの行ってみたい国についてのsmall chat）や「Movie Theater」（映画館に行く設定で、座席や食べ物などを購入するためのやりとり）などの体験活動を行いました。後半は体育館に集まって「Chicken Dance」（イングリッシュキャンプでも体験した海外の伝統的なダンス）や「Bean Bag Toss」（輪投げのようにボールを投げて、当たったカードに書かれた英語の問題に答えるゲーム）に挑戦しました。



普段の英語学習を生かして積極的にALTとコミュニケーションをとろうとしていました。

中野区保幼小中連携教育の日

第2回 小中連携教育協議会

12月18日（水）に、第七中学校区でのテーマ「主体的な学習に取り組む児童・生徒の育成」とした協議会を開催しました。今回は江古田小学校の授業を参観し、その後に児童・生徒が主体的に学ぶ7つの姿を達成するための手立てについて、それぞれの教科で話し合いました。

最後は、明星大学 教育学部の北島 茂樹 教授から学習者主体の学習活動の進展を捉えるための尺度について紹介いただきました。

第七中学校区 三校合同企画「読書ゆうびん 2024」

第七中学校区の小中学校三校合同企画で、夏休みの課題として実施した「読書ゆうびん」についてお知らせします。これは、お気に入りの1冊を「はがき部門」（絵や文章）と「手紙部門」（文章のみ）で紹介するものです。

江古田・江原小学校、中野ダイバーシティフェスタでの展示

「読書ゆうびん」が校区小学校を巡回後、11月10日（日）に開催された「中野ダイバーシティフェスタ 2024」でも展示がされ 130 名を超える方に作品を見ていただくことができました。

入賞作品展示

主催の「本となかよくなるじかん」及び各学校や図書館で選ばれた小中学校の入賞作品が図書館で特別展示されます。ぜひ、冬休みの1冊を探しにお出かけください。

[場所] 中野区立江古田図書館

[期間] 12月28日（土）から1月30日（木）まで（ただし、12月29日から1月3日まで休館）



生徒の活躍

中学生の税についての作文

中野納税貯蓄組合連合会優秀賞	3年	さん	「税金ってありがたい」
東京都読書感想文コンクール 佳作	3年	さん	
中野区読書感想文コンクール 金賞	3年	さん	
銀賞	3年	さん	

サッカー部 中野区中学校新人大会 第3位

中学生 意見発表会

12月14日（土）に なかの ZERO ホール で「中学生 意見発表会」が開催されました。

中野区非行を生まない社会づくり連絡会主催で、区内の中学生が日頃考えていることを尊重し発表する会として実施されているものです。

本校からは2年生の さんが代表で「フェアトレードを知っていますか」という内容が発表されました。 さんは、子どもの権利について調べてみたとき「フェアトレード」が関わっている

ことを知り「なぜ権利とフェアトレードが関係しているのか？」を疑問に思い調べたそうです。そして、貿易格差により発展途上国は不利となり、過酷な労働と低賃金で子供たちが働かなければならないことを知ったそうです。

さらに、発表の中では、日本でフェアトレードをもっと進めていくための考えや提案が述べられました。



